



令和8年度が始まりました。本年度もみなさんの笑顔や努力する姿を見られることを嬉しく思います。太宰府中学校の敷地にある木々は新緑の若葉が鮮やかになり、新しい春の訪れを感じます。

4月は、新しい出会いがあり、新しい一歩をふみだす季節です。期待と同時に不安を感じている人がいるかもしれません。不安な気持ちになることはとても自然なことです。私自身も不安な気持ちになることはよくあります。しかし、不安な気持ちと同じくらい期待する気持ちをもっています。大切なのは、「**昨日の自分より一歩前へ進むこと**」です。大きなことをしようとしなくて大丈夫です。小さな挑戦を積み重ねることが、やがて大きな成長につながります。思うようにいかない日があっても、それは失敗ではなく「学び」なのです。つまずいた分だけ、人は強く、そして優しくなれます。これからの一年、みなさん一人一人が自分らしく輝き、互いに支え合いながら成長していくことを心から願っています。「**できるかどうか**」ではなく、「**やってみよう**」という気持ちを大切に、前にふみだしてみましよう。

第48期生徒会スローガン「**SWITCH ~自分を動かすのは自分自身~**」を合言葉とし、「学校に行くSWITCH、人とかかわるSWITCH、学習・運動するSWITCH」をONにしましょう。



第48回入学式を挙行し、太宰府中学校の生徒が全員そろいました。

4月7日(火)に始業式を行い、9日(木)の第48回入学式で新生128名を迎え、2年生121名、3年生136名、太宰府中生385名で、令和8年度をスタートすることができました。入学式の中で、1年生の不安を少しでもなくそうとするあたたかな「在校生からの歓迎の言葉」、期待をもって中学校生活を頑張ろうという決意が伝わる「**新入生誓いの言葉**」がありました。学校長式辞では、新入生に3つのお願いをしました。一つは「**失敗してもよいから挑戦する気持ち**」をもち続けてほしいということです。何事もやってみなければ、結果は出ません。人は行動しなければ成長することはできません。人は失敗をするものだと思はれます。自分でやってみようと思えることを見つけ、挑戦してほしいと話しました。二つは、「**周りの人のことを大切にできる人**」になってほしいということです。具体的には、挨拶をしっかりすること、人の心を大切にすることを心がけてほしいと話しました。三つは、「**自分と違う価値観を認めることができる人**」になってほしいということです。みんなの考えや意見が違うからこそ、自分にはないものを周りの人たちからたくさん学べます。自分の考えや意見と違うからといって、人を避けたり、遠ざけたりせず、自分の思いを伝え、相手の思いを聞き、一緒に思い合うことができれば、きっと自分の心は豊かなものになっていくと話しました。この話は、入学式に出席した在校生も聞いてくれていたと思います。太宰府中学校の皆さんには、これら3つのことを意識して、日々の学校生活を過ごしてほしいと思います。



たいへんお世話になりました。

これまで太宰府中学校のために尽力された4名の先生方が3月末に離任されました。先生方から、たくさんの愛情を受け、大きな学びがあったと思います。先生方から教えていただいたことを忘れずに、精一杯頑張っていきましょう。4名の先生方の新しい場所での活躍をお祈りします。これまで本当にありがとうございました。令和8年度の太宰府中学校が、さらに素晴らしい学校となるように、みんなで頑張ります。

